

(様式2)

社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名 (ふりがな)	安藤孝敏 (あんどうたかとし)	所属	横浜国立大学教育人間科学部
研究集会等名称	ヒューマン・アニマル・ボンド心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)</p> <p>会員 26 名 (うち認定心理士 1 名) 非会員 14 名 (うち認定心理士 1 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等 (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)</p> <p>● 2009 年度は下記に示した 2 回の定例研究会 (第 35 回・第 36 回) と日本心理学会第 73 回大会ワークショップを開催した。定例研究会の開催案内は日本心理学会ホームページの投稿コーナーに掲載し、広く参加者を募った。</p> <p><u>第 35 回ヒューマン・アニマル・ボンド心理学研究会</u> 日 時：平成 21 年 5 月 16 日 (土) 14 時～17 時 場 所：桜美林大学四谷キャンパス (東京都新宿区四谷 1-21-6) 話題提供：『日本における補助犬の普及に求められるもの ～障がい者の補助犬に対する意識から～』 山本真理子 (麻布大学大学院) 参加者数：8 人</p> <p><u>第 36 回ヒューマン・アニマル・ボンド心理学研究会</u> 日 時：平成 22 年 3 月 13 日 (土) 14 時～17 時 場 所：桜美林大学四谷キャンパス (東京都新宿区四谷 1-21-6) 話題提供：『犬の飼育者における健康行動としての犬の散歩の有用性』 岡 浩一朗 (早稲田大学スポーツ科学学術院) 参加者数：10 人</p> <p><u>日本心理学会第 73 回大会ワークショップ</u> 日 時：平成 21 年 8 月 27 日 (木) 9 時 30 分～11 時 30 分 場 所：立命館大学衣笠キャンパス 敬学館 234 テ ー マ：『ヒューマン・アニマル・ボンド -メディアと動物-』 企 画 者：安藤孝敏 (横浜国立大学)・長田久雄 (桜美林大学大学院) 司 会 者：安藤孝敏 (横浜国立大学) 話題提供：「テレビ CM における動物描写の内容分析」 石山玲子 (成城大学) 「動物虐待と人間間の暴力の関連性 ～先行研究と社会の関心～」</p>		

山崎佐季子（日本社会事業大学）  
指定討論：安藤孝敏（横浜国立大学）  
参加者数：22人

- 2010 度に実施予定の研究会等（2010 年 3 月現在）  
日本心理学会第 74 回大会ワークショップ（予定）  
日 時：平成 22 年 9 月（日時は未定）  
場 所：大阪大学  
テ ー マ：『ヒューマン・アニマル・ボンドー教育と動物ー』